

東京大学ピアノの会

二月演奏会



①2018年2月16日
⇒江戸川区民
総合文化センター
小ホール

②2018年2月17日
⇒太田区民ホール
アプリコ小ホール

①13:00開場(13:15開演)
②15:00開場(15:15開演)

ごあいさつ

本日は東京大学ピアノの会 二月演奏会に足をお運びくださり、誠にありがとうございます。

昨年12月に会長・副会長・会計・書記・各種委員が代替わりし、今回の演奏会は昨年に入会した会員を中心として運営する初めての演奏会となりました。不安な部分も少しありますが、結束を固め、より良い演奏会となるよう努めてまいります。

ピアノの会の演奏会では、会員がそれぞれ思い思いの曲を選び、心を込めて演奏いたします。今回の演奏会は特に個性の際立つ曲目となったと思います。また、演奏者からのメッセージも興味深いものとなったと思います。

未熟な部分も散見するかもしれませんが、様々な角度から楽しめる演奏会になると思います。肌寒い中、心温まるひと時を過ごしていただければ幸いです。

会長 小林祐貴

お客さまへ

プログラムに先立ちまして、お客さまにお願い申し上げます。

会場内でのご飲食・ご喫煙・フラッシュのご使用はご遠慮ください。

会場への出入り・お席の移動は、演奏と演奏の間にお済ませください。

携帯電話やPHS、時計のアラーム等の電源は、予めお切りください。

すべてのお客さまに、快適に演奏をお楽しみいただけますよう、以上の点にご協力お願いいたします。

※プログラムの中で、「文I」「理I」などは、それぞれ教養学部文科一類・同理科一類などを表します。

※演奏者の所属学部に「進」が付いている場合は、2018年4月に当該学部に進学予定の教養学部生であることを示しています。

※演奏者の学年で「M」「D」「L」は、それぞれ修士課程・博士課程・法科大学院生であることを表します。

目次

プログラム.....	4
1日目 (I~V)	4
2日目 (VI~IX)	10
FP (From Performers)	14
I	14
II	15
III	15
IV	17
V	20
VI	24
VII	25
VIII	27
IX	29

1 日目 会場：江戸川区総合文化センター小ホール

2018/02/16(金) 13:00 開場 13:15 開演 20:30 終演

I 13:15-14:30

1	中尾功俊	無題	中尾 功俊	文Ⅲ	1
2	J.S.バッハ	イタリヤ協奏曲 ヘ長調 BWV.971 より 第1楽章	小林 祐貴	理Ⅰ	1
	ドビュッシー	前奏曲集 第1集 より 第8曲 「亜麻色の髪の乙女」			
3	モーツァルト	きらきら星の主題による 12の変奏曲 ハ長調 K.265	赤松 春樹	理Ⅰ	1
4	ショパン	ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 Op.35 「葬送」 より 第1楽章・ 第2楽章	田辺 真里	桐朋	2
5	クープラン	小さな風車	小塚 詩穂里	工進	2
6	ベートーヴェン	ピアノソナタ 第15番 ニ長調 Op.28 「田園」 より 第1楽章	方 大樹	工進	2
7	ペルト	アリヌシュカの癒しに基づく 変奏曲	細谷 拓海	上智	2
	ペルト	アリーナのために			
8	シューマン	「クライスレリアーナ」 Op.16 より 第1曲・第5曲・第6曲・ 第7曲	山本 茉輝	文進	2
9	シューベルト	4つの即興曲 D.935 より 第3曲 変 ロ長調	藪田 萌	工進	2

II 14:40-16:05

- | | | | | | |
|---|-------------------------|--|--------|------|---|
| 1 | ブーレーズ
メシアン | 「12のノタシオン」より 第1曲
「幼な子イエスにそそぐ20の眼差し」
より 第16曲 「預言者、羊飼いと東方の
三博士の眼差し」 | 中村 優太 | 理 I | 1 |
| 2 | リスト | 「愛の夢」 3つの夜想曲 S.541 より
第3曲 変イ長調 | 井口 あさ | 文III | 1 |
| 3 | ショパン
ショパン | ポロネーズ 第3番 イ長調 Op.40-1
「軍隊」
ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53
「英雄」 | 田中 碧 | 東女 | 1 |
| 4 | アルベニス | 「旅の思い出」 Op.71 より 第6曲
「入江のざわめき」 | 韓 亜美 | 薬進 | 2 |
| 5 | ハイドン | ピアノソナタ 変ホ長調 Hob.XVI-49
より 第2楽章 | 大町 和海 | 文進 | 2 |
| 6 | グラナドス | 演奏会用アレグロ 嬰ハ長調 Op.46 | 小野寺 柚乃 | 経進 | 2 |
| 7 | J.S.バッハ | 6つのパルティータ 第1番 変ロ長調
BWV.825 | 大原 知 | 文進 | 2 |
| 8 | リヤードフ
リヤードフ
リヤードフ | 3つの小品 Op.10 より 第1曲
プレリュード
練習曲 へ長調 Op.37
音楽の玉手箱 Op.32 | 木村 留華 | 日獣 | 3 |
| 9 | リスト | 詩的で宗教的な調べ S.173 より 第7曲
「葬送」 | 竹内 麻優 | 桐朋 | 3 |

III 16:15-17:00(二台ピアノの部)

1	浜渦正志	閃光	田中 光	数理	M1
			鬼原 里菜	立正	3
2	民間唢呐曲＝ 魏有山＝兰程 宝	百鸟朝风	檜山 和志	文進	2
			藤江 教貴	工	3
3	モーツァルト	2台のピアノのためのソナタ K.448 より 第1楽章	後藤 香音	東音	1
			芝田 奈々	桐朋	1
4	冨星海	黄河協奏曲 より 第4楽章	奥野 周平	理Ⅲ	1
			下新原 啓	教養	4
5	ラフマニノフ	ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 Op.18 より 第1楽章	塩井 悠太郎	工	3
			桑原 淳	工	M1

IV 17:10-18:35

1	ドビュッシー	小組曲より 第1曲 「小舟にて」 第4曲 「バレエ」	阿部 祥歩 木田 美聖	茶女 農	M1 4
2	ブーレーズ	「12のノタシオン」 より 第12曲	近藤 遼河	法進	2
3	ショパン	夜想曲 第8番 変ニ長調 Op.27-2	安富 湖々	東女	2
4	アルカン	「12の短調練習曲」 Op.39 より 第6番 「交響曲 第3楽章 メヌエット」	高橋 希実	工進	2
5	ルビンシテイン	舟歌 第5番 イ短調	竹村 樹人	法進	2
6	メンデルスゾーン	ロンド・カプリチオーソ ホ長調 Op.14	櫻井 結衣	工進	2
7	呉若希＝檜山和志 玄守鷹矢＝ 檜山和志	眼淚的秘密 脚飛火突華打	檜山 和志	文進	2
8	バルトーク	マイクロコスモス 第6巻 より 第148曲-第153曲 「ブルガリア・リズムに よる6つの舞曲」	藤江 教貴	工	3
9	ラヴェル	「夜のガスパール」 より 第1曲「オンディーヌ」	芝池 円香	藝大	3
10	スクリャービン	2つの詩曲 Op.32 より 第1曲・第2曲	森 章彩子	経	4
11	シューマン	「クライスレリアーナ」 Op.16 より 第1曲・第 5曲・第7曲・第8曲	井上 ちひろ	経	M1

V 18:45-20:30

- | | | | | | |
|---|-------------------|---|--------|----|----|
| 1 | ベートーヴェン | ピアノソナタ 第30番 ホ長調
Op.109 より 第1楽章・
第2楽章 | 桑原 淳 | 工 | M1 |
| 2 | クライスラー＝
ラフマニノフ | 愛の喜び | 田村 ありさ | 本女 | 4 |
| 3 | フォーレ | 夜想曲 第13番 ロ短調 Op.119 | 下新原 啓 | 教養 | 4 |
| | プーランク | 3つのノヴェレッテ より
第1曲 ハ長調 | | | |
| | カプースチン | 8つの演奏会用練習曲 Op.40
より 第8曲 「フィナーレ」 | | | |
| 4 | リスト | 詩的で宗教的な調べ S.173 第3
曲「孤独の中の神の祝福」より
Andante | 田中 光 | 数理 | M1 |
| | ペルト | アリーナのために | | | |
| | シルヴェストロフ | 4つの小品より 第3曲
「バガテル」・第4曲 「後奏
曲」 | | | |
| 5 | スクリャービン | ピアノソナタ 第2番 嬰ト短調
Op.19 「幻想ソナタ」 より
第1楽章 | 阿部 祥歩 | 茶女 | M1 |
| 6 | フォーレ | シシリエンヌ Op.78 | 鈴木 智充 | 情理 | M1 |
| | ステンハンマル | 即興曲 変ト長調 | | | |

- | | | | | | |
|---|---------|---|-------|----|----|
| 7 | J.S.バッハ | 6つのパルティータ 第1番 変ロ長調 BWV.825 より 第1曲
前奏曲 | 藤村 啓介 | 公共 | M2 |
| | ショパン | 12の練習曲 Op.10 より 第3曲
ホ長調 「別れの曲」 | | | |
| 8 | 柏木俊夫 | 「芭蕉の奥の細道による気紛れな
パラフレーズ」より 第1曲
「草の戸も住み替わる代ぞ雛の
家」・第5曲 「野を横に馬ひき
むけよほととぎす」・第6曲
「落ち来るや高久の宿のほととぎ
す」・第15曲 「終宵秋風聞く
や裏の山」・第17曲 「荒海や
佐渡に横たふ天の河」 | 森 大輔 | 農 | M1 |
| 9 | ベートーヴェン | ピアノソナタ 第31番 変イ長調
Op.110 より 第3楽章 | 戸瀬 文之 | 法 | 4 |

2 日目 会場：大田区民ホールアブリコ 小ホール

2018/02/17(土) 15:00 開場 15:15 開演 20:25 終演

VI 15:15-16:15

- | | | | | | |
|---|---------|---|--------|----|---|
| 1 | ドビュッシー | 前奏曲集 第1集 より 第8曲
「亜麻色の髪の乙女」 | 野吾 綾乃 | 文Ⅲ | 1 |
| | スヴェイン | ヴィキヴァキ | | | |
| | ビョルンソン | | | | |
| 2 | J.S.バッハ | 平均律クラヴィーア曲集 第1巻
より 第1曲 ハ長調 BWV.846 | 加藤 祐衣 | 聖心 | 1 |
| | ショパン | 12の練習曲 Op.10 より 第1曲
ハ長調 | | | |
| 3 | ワイルド | 「ガーシュウィンによる7つの超絶
技巧練習曲」 より 第3曲 | 廣畑 優太郎 | 文Ⅱ | 1 |
| | ラヴェル | 「The Man I Love」
組曲「鏡」 より 第4曲
「道化師の朝の歌」 | | | |
| 5 | J.S.バッハ | 6つのパルティータ 第1番 変ロ長
調 BWV.825 | 嶋田 有紗 | 桐朋 | 2 |
| 6 | ラヴェル | 「クープランの墓」 より 第5曲
「メヌエット」 | 中野 遙 | 理進 | 2 |
| 7 | ショパン | 夜想曲 第7番 嬰ハ短調 Op.27-1 | 山田 怜奈 | 聖心 | 2 |
| 8 | ドビュッシー | 「版画」 より 第1曲 「塔」 | 菅原 悠斗 | 順天 | 3 |

VII 16:25-17:35

1	ブラームス	ハンガリー舞曲集 より 第1曲 ト短調・第5曲 嬰へ短調	助川 龍之介	法	4
			助川 虎之介	文 I	1
2	チャイコフスキー	組曲 「くるみ割り人形」 Op.71a より 第8曲 「花のワルツ」	嶋村 鮎	桐朋	2
			嶋田 有紗	桐朋	2
3	ドビュッシー	前奏曲集 第1集 より 第4曲 「音と香りは夕暮れの大きに漂 う」・第8曲「亜麻色の髪の乙 女」・第9曲「さえぎられた セレナーデ」	岩谷 優希	桐朋	2
4	モーツァルト	ピアノソナタ 第4番 変ホ長調 K.282 より 第1楽章	服部 宜成	教養	3
5	ラヴェル	「夜のガスパール」 より 第3曲 「スカルボ」	杉本 眞子	桐朋	3
6	スクリャービン	2つの詩曲 Op.71 より 第1曲	奥野 周平	理Ⅲ	1
7	スクリャービン	9つのマズルカ Op.25 より 第7曲 嬰へ短調	伊藤 圭祐	工進	2
	スクリャービン	10のマズルカ Op.3 より 第4曲 ホ長調			
8	スクリャービン	ピアノソナタ 第9番 Op.68 「黒ミサ」	本荘 悠亜	文	4
9	メトネル	6つのおとぎ話 Op.51 より 第3曲 イ長調	山本 明尚	藝大	D1
	スクリャービン	2つの小品 Op.59			

VIII 17:45-18:55

- | | | | | | |
|---|---|--|--------|----|----|
| 1 | 植松伸夫
=中山博之
植松伸夫
=中山博之
植松伸夫
=中山博之 | 独りじゃない

ハンターチャンス

Melodies Of Life | 鬼原 里菜 | 立正 | 3 |
| 2 | 白波瀬優 | 前奏曲 | 白波瀬 優 | 文 | 3 |
| 3 | J.S.バッハ

松下祐介 | 音楽の捧げ物 BWV.1079
より 3声のリチェルカーレ
春 | 松下 祐介 | 理 | 3 |
| 4 | リスト | スペイン狂詩曲 S.254 | 成家 悠太 | 医 | 3 |
| 5 | ブラームス | ピアノソナタ 第3番 へ短調
Op.5 より 第1楽章 | 川羽田 真奈 | 東音 | 4 |
| 6 | ドビュッシー | 「映像」第2集 より 第1曲
「葉ずえを渡る鐘の音」・
第2曲「そして月は廃寺に落
ちる」 | 野吾 尚紀 | 経 | M1 |

IX 19:05-20:25

1	J.S.バッハ	6つのパルティータ 第4番 ニ 長調 BWV.828 より 第1曲 序曲	南 克彦	理	4
2	ショパン	ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53 「英雄」	三原 祐吾	総合	M2
3	アウエルバッハ	24の前奏曲 より 第16曲 変ロ短調	羽柴 聡一朗	理	M1
	コセンコ	11の練習曲 Op.8 より 第10曲 嬰ハ短調			
	ザデラツキー	24の前奏曲とフーガ より 第2曲 イ短調			
4	ラフマニノフ	絵画的練習曲集 Op.39 より 第1曲 ハ短調	内山 健	工	M1
	ショパン	舟歌 嬰へ長調 Op.60			
5	ドビュッシー	前奏曲集 第1集 より 第10曲 「沈める寺」	石神 一貴	理	M2
6	ショパン	バラード 第1番 ト短調 Op.23	能城 秀彬	総合	M2
7	リスト	メフィストワルツ 第1番 S.514 「村の居酒屋での踊り」	恒本 芳樹	工	4

FP

I

2 小林 祐貴

J.S.バッハ イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV.971 より 第1楽章

ドビュッシー 前奏曲集 第1集 より 第8曲 「亜麻色の髪の乙女」

こんにちは。本日は二月演奏会にお越しくださりありがとうございます。

1曲目はバッハの「イタリア協奏曲」より第1楽章を演奏させていただきます。最近ショパンやドビュッシーを弾くことが多く、しばらくバッハからは遠ざかっていましたが、丁寧な演奏を心がけたいと思います。

2曲目は大好きなドビュッシーの作品から「亜麻色の髪の乙女」を演奏させていただきます。魅力的な旋律を美しく表現できるように頑張ります。

拙い演奏ではありますが、最後までお聴きいただければ幸いです。

7 細谷 拓海

ペルト アリヌシュカの癒しに基づく変奏曲

ペルト アリーナのために

アルヴォ・ペルト（1935 - ）は、エストニアを代表する現代音楽の作曲家です。現代音楽というと不協和音に満ちた難解で聞き苦しい音楽を思い浮かべる方も多いと思います。現にペルトもそういった作品を初期に書いていますが、ソ連当局による前衛芸術への弾圧と前衛音楽の諸技法の追求に行き詰まりを感じた彼は、古典的な和声に則った音楽へと作風を転向していきました。同じくエストニアのシサスクやラトヴィアのヴァスキスなどのように、第二次大戦後にバルト三国で活躍した作曲家には、こうした「和声への回帰」を果たした作曲家が少なくありません。同じ旧東側陣営の国でもアルメニアやアルバニアなどの民謡と現代音楽が絶妙に交錯した東欧の作曲家とは異なった様相を呈しており、非常に興味深いです。

『アリヌシュカの癒しに基づく変奏曲』は17小節の主題と5つの変奏からなる変奏曲です。

イ短調の主題が静かに揺らめきつつ変奏され、最後はイ長調のカノンとなって幕を閉じます。

『アリーナのために』はおよそ1分半の掌品。短いながらも言いようのない緊張感に包まれており、一音たりともおろそかに出来ない作品です。

II

1 中村 優太

ブーレーズ 「12のノタシオン」より 第1曲

メシアン 「幼な子イエスにそそぐ20の眼差し」 より 第16曲 「預言者、羊飼いと東方の三博士の眼差し」

昨年聴いたピエール・ロラン=エマールの両曲の実演に触発され、今回演奏するに至りました。

現代音楽にしては聴きやすいと思われるものを選びましたので、ぜひ気を楽にしてお聴きください。

曲目解説はありません。

3 田中 碧

ショパン ポロネーズ 第3番 イ長調 Op.40-1 「軍隊」

ショパン ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53 「英雄」

「英雄ポロネーズ」は駒場祭の時よりも一音一音丁寧に、

「軍隊ポロネーズ」は華麗な大軍の行進をイメージして弾きたいです。

一年間練習してきた成果を発揮できるよう頑張ります。

5 大町 和海

ハイドン ピアノソナタ 変ホ長調 Hob.XVI-49 より 第2楽章

Hob.XVI-49はハイドンの後期の傑作の一つで、とりわけ今回演奏する第2楽章はハイドンのクラヴィアソナタの緩徐楽章の中で最も美しいと言っても過言ではないと私は思います。私の技量は拙いものではありますが、魂を賭けて(というと大げさかもしれませんが…)一音一音丁寧に弾くつもりですので、もしお聞きいただければ幸いです。

III

1 田中 光

鬼原 里菜

浜渦正志 閃光

ファイナルファンタジーXIII(以下、'FF13'とする)は、2009年にスクウェア・エニックスより発売されたプレイステーション3用RPGです。音楽は浜渦正志さんが担当しています。今

回はこちらの作品から『閃光』を2台ピアノで演奏します！

閃光は、FF13の通常戦闘曲です。最初は緊張感を持ちながら段々と音が増えていき、サビに入るとバイオリンが主旋律を奏でます。このサビの盛り上がりが最高にかっこいいのです…！ 気になった方はぜひ原曲も聴いてみましょう。

この楽曲を2台ピアノで弾くにあたり、2014年に行われたライブでのピアノ・バイオリン・チェロの三重奏のアレンジを参考にしました。曲の流れは同じですが、ピアノで表現できるようメロディの音を分厚くしたり、装飾音を入れたり工夫しました。三重奏 Ver.をご存知の方はこちらにも注目してみてくださいね！

2 檜山 和志

藤江 教貴

民間唢呐曲＝魏有山＝兰程宝 百鸟朝凤

百鸟朝凤原是一首唢呐演奏的民间乐曲。这表达了热情欢快的旋律与百鸟和鸣之声。

5 塩井 悠太郎

桑原 淳

ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 Op.18 より 第1楽章

「ピアノコンヤるとしたら何弾きたい？」

何気ない会話の中から生まれた桑原さんのこの一言で、この曲を弾くことが決まりました笑
哀愁漂うメロディーと重みのあるバスが心を揺さぶるこの曲は、僕が小さい時からの憧れで、そのことを桑原さんに話したら

「この曲なら弾いたことあるから塩井くんピアノパート弾いていいよ」

となんとイケメンな発言に甘え、この度は思う存分弾きたいと思います。(塩井)

思えば大学に入学してからは毎年この季節に二台ピアノを演奏しています。基本的に孤独なクラシックピアノ演奏において、誰かと音楽を紡ぎ出す機会に恵まれたことは本当にありがたいことです。P会生活も残り少なくなってきましたが、このような人とのつながりを大切にしていきたいです。

さて、今日演奏するラフマニノフのピアノ協奏曲は3年前に演奏した思い出の曲です。あの時は欲張ってピアノパートばかり弾いてしまったので、今回は先輩らしく(?)後輩を引き立てられるような伴奏を目指します。塩井君のオーラにかき消されませんように……。 (桑原)

IV

2 近藤 遼河

ブーレーズ 「12のノタシオン」より 第12曲

一年生の中村君と曲被りしてるのでそちら参照。きっと素晴らしい曲目解説をご覧くださいませ。

5 竹村 樹人

ルビンシテイン 舟歌 第5番 イ短調

アントン＝ルビンシテイン（1829～1894）は有名かつ権威あるロシアのピアニストかつ作曲家です。このことは5つの層に分かれたロシアの作曲家マトリョーシカの3番目にはいっていること、モスクワ音楽院のホールに大きな肖像画掲げられていることなどからも明らかです。ロシアのロマン派音楽を確立した彼の音楽の影響は多岐に及びます。ボルトケヴィチ、さらには初期のスクリャーピンの作品にも影響が見られるように思います。

今回弾く「舟歌」は何かロシア的なものを感じさせてくれます。ロシア的なもの、そのようなものが存在するのか議論はあるでしょう。私の知識と語彙では説明するのが難しいですが、少なくとも私の心の中にはロシアの「あはれ」のようなものが、ロシアの音楽、食事、美術、あと少しの文学などをもとに形成されているような気がします。今回はそのような情感を少しでも表現できればと思います。

7 檜山 和志

呉若希＝檜山和志 眼淚的秘密

玄守鷹矢＝檜山和志 脚飛火突華打

◆眼淚的秘密◆

中国のドラマかなんかのオープニングの歌らしいです。へーっ！！

歌聴いたとき雰囲気メンヘラなことかグッときて個人的良かったのでピアノソロ版飾らず無難な感じに仕上げました。

下に歌詞載せておくので暇な人は歌ってみてくださいw

尋尋覓覓蝴蝶花上流離

年年月月若要走總要飛

蒼生是幾秒遊戲

相愛是不朽的隱秘

白費的 好一場旖旎

層層疊疊遺落幾段傳奇
離離合合沒你怎知我悲
當朝夕可以忘記
偏有時貪歡想起你
沒結果 仍回味至死

誰能及我驚天動地 連流淚都覺嫵媚
上輩子一早約你 今生重逢之地
誰人為我精彩預備 最痛的相愛別離
下輩子找得到你 思憶如棉絮飛
直到瀾漫天與地

平平淡淡無字寫下傳奇
遊遊蕩蕩沒你怎飛躍起
當今夕可以忘記
天再亮偏捨不得你
任世間 流傳是與非

誰能及我驚天動地 連流淚都覺嫵媚
上輩子一早約你 今生重逢之地
誰人為我精彩預備 最痛的相愛別離
下輩子找得到你 思憶如棉絮飛
門牆亦緊閉起 紮實拳頭去愛起
仍在指間走失不見你 沒餘地

誰能及我驚天動地 任背影開到荼蘼
這輩子感激有你 刺骨銷魂滋味
誰人是我一生夢寐 最美的相愛別離
下輩子找得到你 該可從頭愛起
讓我承受所有妒忌

◆脚飛火突華打◆

こっちは日本人の作品です。といっても十何年か前に流行らずに消えた某無名ロックバンドの曲（Fire Man って曲なんだか違うんだかいろんな説があって…作曲者さんが失踪したので何もわからないんですよ…）で、ドラム担当だった作曲者さん本人がキーボード用に編曲したものの演奏のコピーをピアノ用にさらに編曲したもの。ドラムやキーボードほど超速な連打とか跳躍は少なくなってしまうんですが（ピアノでやるのは物理的に無理）、バンド感はなるべく残してるつもり、です。体力的にも技術的にも自分には難しいけど、カッコいい曲です。首,前後に振って、ねw

8 藤江 教貴

バルトーク ミクロコスモス 第6巻 より 第148曲-第153曲 「ブルガリア・リズムによる6つの舞曲」

ミクロコスモスは、バルトークが息子ペーテルのために書き留めた練習用の曲などを編集して構成した6巻153曲に及ぶ教則本です。教則本といっても、最終巻の6巻にもなると、なかなかの難曲が揃っております(ですが、もちろんピアノソナタとかに比べれば簡単です)。

私は高校生の頃までに5巻まで修了しておりますが、なぜか6巻だけは手をつけていません。ミクロコスモスを全巻修了していないと真のバルトーク弾きにはなれないと察した私は、今回、その中の最後の6曲に当たるあたる「ブルガリア・リズムによる6つの舞曲」を演奏することにしました。

この曲は面白い曲で、すべてがブルガリア民謡によく見られる変拍子で書かれております。具体的には、八分音符を基調に、一曲目は4+2+3、二曲目は2+2+3、三曲目は2+3、四曲目は3+2+3、五曲目は2+2+2+3、六曲目は3+3+2のリズムとなっております。聴きながら確認してみてください。

早いもので、p会に入って三年が経とうとしています。6巻の他の楽曲に関しても、学部生のうちに、来年の卒演までには修了しておきたいものです。

9 芝池 円香

ラヴェル 「夜のガスパール」 より 第1曲 「オンディーヌ」

ラヴェルは文学にも関心があり、「オンディーヌ」の楽譜には詩人アロイジウス・ベルトランの散文の一節がまるごと載っています。水の動きを表す32音符の連なりの中で、水の精オンディーヌの悲しく冷たい歌が浮き上がってくるメカニカルな構成には、機械仕掛けのおもちゃが大好きだった彼の性格もよく表れています。幻想的な世界とオンディーヌの繊細な心の動き

を表現したいです。

V

4 田中 光

リスト 詩的で宗教的な調べ S.173 第3曲「孤独の中の神の祝福」より Andante

ペルト アリーナのために

シルヴェストロフ 4つの小品 より 第3曲「バガテル」・第4曲「後奏曲」

・リスト作曲 詩的で宗教的な調べ S.173 第3曲「孤独の中の神の祝福」より Andante

「お前は宗教ではなく、音楽に向いている。神を愛し、善をなし、正直であれ。そうすれば、お前は芸術の最高峰に到達できる。神から授けられた天賦の才は、この仕事のためにお前に定められたものだ。」（『大作曲家の信仰と音楽』P・カヴァノー著 吉田幸弘訳 より）

十代の頃、神学校に通いたい、司祭になりたいと懇願するリストを父親が諭した言葉です。それほど信仰の篤い人間でした。

晩年は修道院に入り、宗教音楽も作曲したリスト。この演奏で、その宗教性を感じて頂ければ幸いです。

『詩的で宗教的な調べ』は、リストが1853年に完成させた10曲からなるピアノ曲集です。フランスの詩人ラマルティエヌによる同名の詩集に着想を得て作曲されました。うち何曲かは楽譜の冒頭に彼の詩が置かれています。

第3曲「孤独の中の神の祝福」もその一つ。

おお、神よ！ わたくしの心に満ち溢れるこの平和は何処から来るのだろうか？

わたくしの心が持つ余すほどのこの信仰は何処から来たのだろうか？

わたくしにとって今のところ総てが定かでなく、揺れ動き、

あらゆる風が弄ぶ懐疑の海原の上を、

賢人の幻想の中に、善や真実を、

そうして、雷雨轟く心の中に平和を追い求める。

眼の前をほんの数日が滑っていただけで、

一世紀が過ぎ、世が終わってしまったように思われる。

渺茫たる淵によってそれらより隔てられて、

わたくしの中には別の人間が再生し、同じことを繰り返す。

この曲は三部に分かれています。今回演奏するのは中間部の Andante です。

短い一節の中にリストの心の静けさが聴こえます。

・ペルト作曲 アリーナのために

エストニアの現代作曲家アルヴォ・ペルト (Arvo Pärt) は、日本ではまだあまり知られていません。僕も半年前に知りました。

ですが、聴いた瞬間に一番好きな作曲家になりました。「好き」と言うのも畏れ多いほどです。

一生を通じて、この人の作品を弘めたいと思います。

2017年の時点で存命する作曲家のうち、世界中で最も多くコンサートで演奏されるのがこのペルトだそうです。

ちなみに2番以降はジョン・アダムズ、ジョン・ウィリアムズ、フィリップ・グラス…と続きます。(出典：<https://bachtrack.com/classical-music-statistics-2017>)

日本でも少しずつ知られてきており、2014年には高松宮殿下記念世界文化賞受賞のために来日しました。

ペルトは1935年生まれ。若い頃は主に十二音技法を用いていましたが、限界を感じ数年間作曲から身を引きます。その間グレゴリオ聖歌やルネサンスの音楽を探究し、やがて新たな作曲様式とともに復帰。その様式はペルト自身が、ラテン語で「鈴」を表す「ティンティナブリ (tintinnabuli)」と名付けました。

この様式の根底をなすのは、音楽そのものの基本である「三和音」。そのためか、僕にとってペルトの作品はすべての音楽の源のように感じられます。

今回演奏する「アリーナのために (Für Alina)」は、その様式で作られた最初の作品の一つ。ペルトの作品に流れる「静寂」が最も深く表れた曲です。

アリーナとはペルトの友人の娘の名前。両親が離婚して悲しみに打たれているとき、その痛みを癒やすためにこの曲を捧げました。

(ただし、英語版の Wikipedia に出典なしで書かれていた話なので真偽の程はわかりません。他にもないかと探しましたが…。)

聴いてみて、「こういう音楽もあるんだな」と思って頂ければ、ペルトの音楽の紹介者として本当に嬉しく思います。

興味を持たれた方は、「鏡の中の鏡 (Spiegel im Spiegel)」という作品も聴いてみてください。

・シルヴェストロフ作曲 4つの小品より 第3曲 バガテル・第4曲 後奏曲

もう一人、現代作曲家を紹介します。

ヴァレンティン・シルヴェストロフ (Valentin Silvestrov) はウクライナの作曲家。1937 年生まれで存命中です。

ペルト同様、若い頃の前衛的作風が、年を経て古典的になった作曲家です。

日本では密かなブームになっているようで、2017 年に来日しました。

「静寂」というペルトと同じ言葉が似合う作曲家ですが、より内省的で、思い出の中をさまよったような淡い静寂を感じます。

この曲集はずいぶん新しく、2006 年に作曲されたものです。楽譜には細かく変わるテンポと強弱の指示があり、作曲家いわく「添え物ではなく作品の重要な要素」です。曖昧な記憶の世界を旅しているような感覚を呼び起こします。

以上 4 曲、静かな曲ばかり集めてみました。

この演奏会の中で、一番静かな時間をお届けしたいと思います。

6 鈴木 智充

フォーレ シシリエンヌ Op.78

ステンハンマル 即興曲 変ト長調

寒いですね。

7 藤村 啓介

J.S.バッハ 6つのパルティータ 第1番 変ロ長調 BWV.825 より 第1曲 前奏曲

ショパン 12の練習曲 Op.10 より 第3曲 ホ長調 「別れの曲」

今回も駒場祭に引き続き、「別れの曲」と「前奏曲」を弾きます。私がピアノを始めたのは小学校2年生あたりでしたが、中学受験で一度中断しました。その後も、受験終了後にすぐにピアノを再開したわけではありませんでした。しかし、ある時、「別れの曲」をふと聴いたことで、この曲を弾きたいと思ってピアノを再開しました。おそらく、あの時に「別れの曲」を聴かなければ、私はピアノに戻ってこなかったと思います。駒場祭の時、この曲を選んだ理由をいろいろな人から聞かれましたが、この曲にはそのような思い出があります。

バッハのパルティータ1番は、何か小さい曲が欲しいと思った時に重宝しました。今回は「前奏曲」を弾きます。

入会してからもうそろそろ6年がたとうとしています。私がピアノの会主催の演奏会で演奏するのはついに最後になってしまいました。ピアノの会への感謝をこめて、この曲を演奏したいと思います。

8 森 大輔

柏木俊夫 「芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ」 より 第1曲 「草の戸も住み替わる代ぞ雛の家」・第5曲 「野を横に馬ひきむけよほととぎす」・第6曲 「落ち来るや高久の宿のほととぎす」・第15曲 「終宵秋風聞くや裏の山」・第17曲 「荒海や佐渡に横たふ天の河」

この度は二月演奏会にお越しくださり、ありがとうございます。今回演奏する作品は、邦人作曲家である柏木俊夫(1912-1994)の代表作と言われている作品です。松尾芭蕉の生誕300年にあたる1945年に着想されて1948年に完成され、毎日音楽コンクールやジェノバ国際作曲コンクールなどにも入選した作品です。

この作品は、特に書法の観点から見るとショパンに通じる点が多く、そこにフランス近代的な和声や、日本的な音階などが持ち込まれることで、独特の世界観が作られています。全17曲、演奏時間は約45分の大作で、全て松尾芭蕉の「奥の細道」に登場する俳句が曲名になっています。また、曲順も終曲以外は実際に芭蕉が旅した通りの順番です。

今回は抜粋での演奏になりますが、簡単に1曲ずつ紹介します。

♪ 第1曲 「草の戸も住み替わる代ぞ雛の家」

芭蕉が旅立ちに際して詠んだ句です。1分ほどの短い曲で、アルペジオに乗って流麗な旋律が奏でられます。時折、意表をついたような和声が見れるのが印象的です。季語は「雛」で春。

♪ 第5曲 「野を横に馬ひきむけよほととぎす」

♪ 第6曲 「落ち来るや高久の宿のほととぎす」

この2句は那須で読まれたもので、ともに夏の季語である「ほととぎす」が使われています。「野を横に～」は馬が走っているかのような終始一貫した軽快なリズムが特徴的で、逆に「落ち来るや～」は鳥の鳴き声を模したかのような自由で即興的な雰囲気印象的です。同音連打を効果的に用いているのもポイントです。

♪ 第15曲 「終宵秋風聞くや裏の山」

この句は、芭蕉の旅に同行していた弟子の曾良が詠んだ句です。曾良は体を壊して途中で帰ることになり、その道中に石川県の全昌寺に泊まり、この句を詠みました。曲を通して一貫する高音域のアルペジオは、芭蕉と別れた寂しさを反映するかのようで、繊細で寂寥感の強い曲想となっています。

♪ 第17曲 「荒海や佐渡に横たふ天の河」

佐渡島で読まれた句であり、この曲だけ芭蕉の辿った道筋を逆行しています。印象派風の曲が続く中、一転してロマン派的な雰囲気に転じることなどからも、作曲者が明示的に「終曲」として持ってきたことが伺えます。荒波を模したかのようなアルペジオに乗って、演歌のよう

な息の長い旋律が奏でられる、ダイナミックな曲です。季語は「天の河」で秋。

今回演奏する作品は、言うまでもなくマイナーな作品で、楽譜の入手が遅れたことから練習期間も普段より短いのですが、一人でも多くの方に気に入っていただけるような演奏ができればと思っています。ちなみに、この曲の全曲録音のCDは2つあり、Amazonなどで販売されている他、図書館などで所蔵されている場合もあります(私は文京区図書館で借りました)。また楽譜は受注印刷のため高額ですが、桐朋音楽大学音楽学部附属図書館(一般の人でも楽譜を借りることができます)などに所蔵されている他、コピーのコピーでしたら差し上げることができます。もしも聴きたい、弾きたい、などと思ってくださった方は、ぜひ参考になさってください。

9 戸瀬 文之

ベートーヴェン ピアノソナタ 第31番 変イ長調 Op.110 より 第3楽章

ベートーヴェンは生涯を通じて32曲のピアノソナタを書きました。その中でも後期に書かれた作品は、内面的な深みが極致に達しているとの評価がしばしばなされますが、私が今回演奏する31番もその一つで、彼の死の6年前に書かれました。本来であれば第1～3楽章を通して聴いていただきたいものですが、それは流石に時間が許しませんので、今回は第3楽章のみ弾かせていただきます。

その第3楽章について、曲の展開を大まかに述べますと、まず静かで幻想的な序奏から始まり、次いで非常に切ない「嘆きの歌」が演奏されます。そして変イ長調のフーガが次第に盛り上がりを見せますが、再度「嘆きの歌」とフーガが、一度目と関連しつつも異なった形で反復され、やがてフーガから離れた壮大なフィナーレを迎えます。

私がベートーヴェンの深遠な感情表現をどこまで皆様にお届けできるか分かりませんが、精一杯演奏いたしますので、何卒最後までお付き合いいただければ幸いです。

VI

3 廣畑 優太郎

ワイルド 「ガーシュウィンによる7つの超絶技巧練習曲」 より 第3曲 「The Man I Love」

ラヴェル 組曲 「鏡」 より 第4曲 「道化師の朝の歌」

一曲目はアメリカのピアニスト、アール・ワイルドがガーシュウィンの歌曲を元に作り上げた「七つの超絶技巧練習曲」の中の一曲です。この曲は元々ミュージカルのために書かれた作品なのですが、やがてミュージカルから独立してジャズのスタンダードとなり、それをアール・ワイルドが編曲してこのような形になりました。若い女性が憧れの男性を夢見て歌うという内容

で、内容通りチャーミングで歌心に満ちた作品です。ところでこの作品、番号が物によって3番だったり4番だったりとまちまちなのですがこの曲は曲集の何番目の曲なのでしょう？いまいちよくわかりません…

もう一曲はラヴェルの組曲「鏡」より、「道化師の朝の歌」です。くっきりとしたリズムにスペイン情緒あふれる旋律、同音連打に二重グリッサンドなど華やかではありますがどことなく切ないフレーズも混じり、起伏に富んだ魅力的な作品です。楽しんで聴いていただければと思います。

VII

1 助川 龍之介

助川 虎之介

ブラームス ハンガリー舞曲集 より 第1曲 ト短調・第5曲 嬰へ短調

ピアノの会の演奏会で兄弟連弾をするのは、これでラストになりました。ちょっぴり寂しいです。。

さて、今回は『ハンガリー舞曲』を演奏します。以下に、この曲の背景を記します。

1848年にパリで起きた2月革命に刺激を受けて、ハンガリーの政治家コシュートはオーストリアからのハンガリー独立を求める演説をします。この演説は独立戦争へと発展しますが、ロシアとオーストリアによって鎮圧されてしまいます。

ブラームスは、この革命運動に加わって亡命したヴァイオリニスト、レマーニのピアノ伴奏者でした。2人は演奏旅行を行い、その旅行中にレマーニはブラームスにハンガリーの民族舞曲を弾いて聴かせました。それをブラームスは筆記し発展させたのが、『ハンガリー舞曲』です。

先週まで中欧とドイツを兄弟で旅行していましたので、ハンガリーで感じた本場の雰囲気を経験した今回の演奏で表現出来たらと思います。また、ウィーンの中央墓地にあるブラームスのお墓で演奏の成功を祈願してきました。

お世話になっている人達に感謝を込めて頑張ります。

3 岩谷 優希

ドビュッシー 前奏曲集 第1集 より 第4曲「音と香りは夕暮れの大気に漂う」・第8曲「亜麻色の髪の乙女」・第9曲「さえぎられたセレナーデ」

今年はドビュッシー没後100年の節目の年です。

ドビュッシーの前奏曲集は1910年に作曲された第1巻と1913年に作曲された第2巻、合わせて全24曲からなります。すべての曲に標題がつけられていて、いずれの標題にも人物や自然からインスピレーションを得た具体的な表現が用いられているのが特徴です。また、ドビュッシーはそれぞれの演奏者に独自の感性で演奏してもらいたいという意向があったといわれ、標題は、現在出版されているどの楽譜においても各曲の冒頭でなく最後のページの右下に小さく控えめに記載されています。

前奏曲集を勉強するにあたり、標題をもとに当時ドビュッシーの見ていた世界を私なりに想像してみるのですが、もちろん答えは今から100年も前にこの世を去ったドビュッシーの頭の中にしかなく、大苦戦しています。しかし、会場でお聴きくださる皆様と曲の何らかの世界観を共有することができたら幸いです。

9 山本 明尚

メトネル 6つのおとぎ話 Op.51 より 第3曲 イ長調

スクリャービン 2つの小品 Op.59

藝大でロシア音楽の研究をしています。修論でスクリャービンとスクリャービンに影響されて作曲活動を行った若い作曲家について書いたので、スクリャービンを取り上げられる皆さんの中で弾くことができるのは嬉しいです。本日は久々にピアノをじっくり練習して、それをお客様の前で弾くということで、美しい音楽をお届けできるよう頑張ります。

《おとぎ話》はニコライ・メトネル（1880～1951）が作り出し、盛んに創作した小品のジャンルです（あまり知られていませんが、メトネル以外ではプロコフィエフが同名曲を作曲しています）。メトネルは1905年に完成したOp.8を皮切りに、いくつもの「おとぎ話」を盛んに世に問いました。本日演奏する曲が含まれるOp.51は、彼が革命直後のソヴィエトから亡命したのち、1928年に作曲されたもので、6曲からなるこの曲集が、彼が生涯で語る最後の「おとぎ話」となりました。今日演奏する第3曲は後輩からTwitterでオススメしてもらったもので、すぐに気に入って弾いてみようと思い、今日の演奏会で取り上げました。スクリャービンが続く中メトネルを演奏するのは恐縮ですが、同時代人（メトネルのがやや後輩ですが）のよしみで許してもらいましょう。楽曲の内容にもかんたんに触れておくと、叙情的で民俗的な旋法も垣間見える主部に、転調を繰り返しながら展開していく中間部が挟まれている、という構造を持ちます。

続いて演奏するのは、性格の異なる2つの小曲のコントラストが鮮やかなスクリーバービンの《2つの小品》作品59です。第1番〈詩曲〉は優美で甘美な小品です。スクリーバービンが後期に発案した神秘和音が中心的に用いられ、伝統的な和声語法と反しながらも、それが汚く響く箇所が一箇所もないことに驚かされます。第2番〈前奏曲〉は「野蛮な、好戦的な Sauvage, belliqueux」という演奏指示がなされているように、第1番とは対極にある、不穏で荒々しい小曲です。この楽曲で通底して用いられるのは神秘和音の変形で、その内的構造が、曲調以外の点でも第一曲との聴覚的差異を生んでいるといえるでしょう。

VIII

1 鬼原 里菜

植松伸夫＝中山博之 独りじゃない

植松伸夫＝中山博之 ハンターチャンス

植松伸夫＝中山博之 Melodies Of Life

今回演奏するのは、2000年にスクウェア(現スクウェア・エニックス)より発売された『ファイナルファンタジーIX』の楽曲です。

ファイナルファンタジーIX(以下、'FF9'とする)は、ファイナルファンタジーシリーズ最後のプレイステーション用RPGです。「原点回帰」と「生命讃歌」がテーマに掲げられており、中世ファンタジー的な世界観に加え、それまでのシリーズの集大成として過去の作品のオマージュ的な要素が盛り込まれています。音楽は、ファイナルファンタジーシリーズの大半の曲を手掛けた植松伸夫さんが担当しています。

それでは、演奏する3曲を紹介いたします。

◆独りじゃない

物語終盤のイベントシーンで流れる楽曲です。主人公ジタンが自身の出生の秘密を知り、それを理由に仲間達から去ろうとするが、主人公のもとに仲間たちが駆けつけるという、屈指の名シーンで流れます。悲壮感溢れる旋律が、主人公の心情をよく表現しています。タイトルの独りじゃないは、主人公への仲間達の思いを表しているのでしょうか。

ピアノアレンジでは、バラードの雰囲気を持った1番、2番の前に新たな間奏が入っており、情熱的なクライマックスが来て、消えるように終わります。全体的にも静かで美しいアレンジです。

◆ハンターチャンス

物語序盤の、狩猟祭というイベントで流れる楽曲です。勇壮感があり、とてもカッコいいです。特徴あるリズム、変拍子、転調がたまりません…！

ピアノアレンジでは、冒頭では中間部に出てくるメロディが哀愁的に流れ、徐々にテンポが速くなり本編に入ります。特徴あるリズムを活かし、より重厚感のあるアレンジとなっています。

◆Melodies Of Life

FF9の主題歌です。原曲はシンガーソングライターの白鳥英美子さんが歌っています。FF9のテーマ「命」をモチーフとした歌詞と美しい旋律が特徴的です。

こちらは原曲のハープを活かしつつ、ショパンのノクターン風にアレンジしたそうです。優しく、感動的なアレンジとなっています。

静かに終わる曲で締めるのは初めてでより緊張していますが、どうか温かく見守ってください…！ これらの曲をご存知の方にはもちろん、ご存知でない方にも楽しんでいただけるよう頑張ります！

2 白波瀬 優

白波瀬優 前奏曲

残りの演奏会がそんなになくことに気づき、一回くらいは自作曲弾こうかなと。昔「雪の降る夏祭り」という謎の題をつけていた曲を修正して弾こうと思います。さすがにこの題でエントリーするのは気が引けたので曲名は無難な(?)「前奏曲」になっていますが、割と長いうえに途中でカノンが挿入されるので前奏曲ぽくないですね。ところどころ変な音があると思いますが、私は作曲の理論を知らないためフィーリングで作曲したのではないですね。ご容赦ください。某フレンズの編曲でもそうでしたが、今回もちよこちょ引用してます。問題はFP執筆時点でまだ一部完成していないのと、自分の技量じゃ弾けないことですね……自作のロンドもお気に入りなのですが無駄に難しいので誰かに弾いてもらいたいところ。

3 松下 祐介

J.S.バッハ 音楽の捧げ物 BWV.1079 より 3声のリチェルカーレ

松下祐介 春

・音楽の捧げ物 BWV.1079 より 3声のリチェルカーレ (J.S.バッハ作曲)

リチェルカーレとは調性や旋法を「探し出す」という意味合いのある曲で、この曲では C-Eb-G-Ab-B-G-F#-F-EEb-D-Db-C-B-A-G-C-F-Eb-D-C という主題を持つ3声のフーガに対する名前となっています。

この主題は「王の主題」と呼ばれ、フリードリヒ2世がポツダム宮殿においてこの主題を用いて即興演奏をするようにJ.S.バッハに命じ、バッハがその主題でこの3声のフーガをその場で見事演奏した、という伝承があります。バッハは同じ主題を用いていくつかの対位法的作品を

作り「音楽の捧げ物」と題し、"Regis Iussu Cantio Et Reliqua Canonica Arte Resoluta"（「カノン技法で解決された王の命による主題等」、頭文字を取ると RICERCAR で、ricercare の語末母音が脱落した形）という言葉添えています。

3声のリチェルカーレは複雑な主題を巧みに用いながら即興的でもあり、この雰囲気惹かれて今回この曲を選曲するに至りました。バッハの演奏経験の殆ど無い自分がこのような曲を演奏することには躊躇いもあるのですが、どうか若気の至りとしてお許しください。

・春（自作曲）

イ長調のワルツ風の小品です。卒演に向けて作曲もしていきたいものです。

IX

2 三原 祐吾

ショパン ポロネーズ 第6番 変イ長調 Op.53 「英雄」

学生最後の思い出に、舞台上でピアノを弾きたいと思い、出演させていただきました。

今回演奏させていただく英雄ポロネーズは言わずと知れたショパンの名曲です。激動の時代の中、パリやロンドンにいなながらも、二度と帰ることの叶わなかった祖国を思い続け、マズルカやポロネーズといったポーランド民謡の数々を残していったショパン。特にこの英雄ポロネーズはポーランド人としての誇りの高さ、生命力の強さをひしひしと感じさせてくれます。力強い歌を届け、華やかに学生生活を締め括れたらと思い演奏に臨みます。

3 羽柴 聡一郎

アウエルバッハ 24の前奏曲 より 第16曲 変ロ短調

コセンコ 11の練習曲 Op.8 より 第10曲 嬰ハ短調

ザデラツキー 24の前奏曲とフーガ より 第2曲 イ短調

Здравствуйте!

もし僕が予定通り出演しているならば、4年の高橋航平と行ったロシア連邦サハ共和国ヤクーツク（Якутск）から2日前に帰国しているはずです。FP執筆時のヤクーツクの気温は-40℃。バナナどころか水銀さえ凍りますね。

もし僕が急遽演奏をキャンセルしているならば、今頃シベリアの永久凍土に眠っていることでしょう。

以下は僕が生還している前提で書きますが、今回は旧ソ連のマイナー作曲家祭りをやってみま

した。過酷な冬を生き抜く人々が生み出した音楽をお聴きください。

・アウエルバッハ作曲 24の前奏曲 より 第16曲 変ロ短調

レーラ・アウエルバッハ（Л е р а А в е р б а х）は1973年、隕石が落ちたことで有名なあのチェリャビンスク（Ч е л я б и н с к）で生まれた女性作曲家で、ピアニストとしても有名です。その作風は極めて過激で、狂気さえ感じさせるような力強さがあります。この24の前奏曲も強烈な不協和音やクラスター和音の強打を随所に含んでおり、お世辞にも聴きやすい曲とは言えません。しかし、これもロシアの冬の過酷さに比べれば生易しいものなのでしょう。FP執筆時のチェリャビンスクの気温は-27℃です。

・コセンコ作曲 11の練習曲 Op.8 より 第10曲 嬰ハ短調

ヴィクトル・コセンコ（В і к т о р К о с е н к о）は1896年にサンクトペテルブルク（С а н к т - П е т е р б у р г）で生まれたウクライナ人作曲家です。彼の作風はウクライナやモルドバの民謡に強く影響を受けていると言われています。この曲は初めから終わりまでメトロノームの如くE音が打ち鳴らされているのが特徴です。アウエルバッハに比べると非常に穏やかな作風ですが、これは彼が人生の大半を過ごしたジトームル（Ж и т о м и р）の気候の温暖さと無関係ではないでしょう。FP執筆時のジトームルの気温は-10℃です。

・ザデラツキー作曲 24の前奏曲とフーガ より 第2曲 イ短調

フセヴォロド・ザデラツキー（В с е в о л о д З а д е р а ц к и й）は1891年にリウネ（Р і в н е）で生まれたウクライナ人作曲家です。ニコライ二世の長男アレクセイの教師を務めたという理由からソ連政府に目を付けられたことで、1926年にはその作品全てを焚書にされ、生涯の殆どを流刑地や牢獄で過ごすことを余儀無くされた悲劇の作曲家です。その為、現存する作品は数少なく、彼の音楽の多くは闇に葬られてしまいました。これはその中で生き残った貴重な曲の一つで、同年代のショスタコーヴィチよりも若干ロマン派寄りな作風が窺えます。

7 恒本 芳樹

リスト メフィストワルツ 第1番 S.514 「村の居酒屋での踊り」

どうもこんにちは！P会4年のつねもとです！

FP、個人的には前からすごく好きなんですけど、もう1年以上FPを書くことから遠ざかってしまったので、「FPさんお久しぶりです！！」って感じで、どうやったら書けるのか感覚を忘れてしまいました(笑)、そんな私の文章にもおつきあいしてくれる方、よかったら読んで

みてください(笑)

まず簡単にですが、今回の演奏曲のほうを紹介させてください。

F. リストが 1856～1861 年頃に作ったとされるメフィスト・ワルツ第 1 番「村の居酒屋での踊り」は、リストの弟子カール・タウジヒに献呈されました。この曲は、リストの同郷の詩人レーナウによる詩から靈感を得て作曲されたもので、そのストーリーは下記のようなものです。

～～～

『ファウストとメフィストフェレスは、農民たちが踊り集うバーに現れる。メフィストフェレスは楽士からヴァイオリンを取り上げて自ら弾き始め、農民たちを陶酔へと誘う。この間にファウストは黒髪の踊り子を抱いて星の夜へと連れ出し、森の中へと入ってゆく。。。』

～～～

簡単に書くと、学者としては優秀であるものの現状の生活に不満を抱くファウストが、悪魔メフィストフェレスに誘惑され、現世での悦びとひきかえに地獄へと落とされる。。。という伝説のようです。

そんな私生活を望むタイプの○大生のニュースは少し前に見た気がします(?)、むしろそんな私生活とは無縁でいたいですよ(笑)

……ということで、私のこんな FP を読んでくれた方は、こんなエピソードを心の片隅にとどめつつ、演奏のほうも聴いてくださると嬉しいです！

ふと思いついて選曲しましたが、自分には難曲です。なんて言ってもキリがないので、少しでも楽しんで聴いていただけるようにがんばります！

MEMO

MEMO

MEMO

東京大学ピアノの会

二月演奏会

日時

2018年2月16日(金)、17日(土)

場所

江戸川区総合文化センター 小ホール、大田区民ホールアプリコ 小ホール

主催

東京大学ピアノの会
(<http://www.p-kai.net>)

会長

小林祐貴
(連絡先:y.kobayashi.pkai@gmail.com)

プログラム作成

廣畑優太郎

表紙作成

田中碧

次の演奏会は、2018年3月10日(土)にムジカーザ(代々木上原)にて開催される、2012年度 OBOG 演奏会です。皆様の来場をお待ちしております。